

# 令和4年度第1回治験審査専門部会

## 【会議の記録の概要】

開催日時	2022年04月27日 17時00分～17時45分
開催場所	第2会議室
出席委員	辻本 広紀、足立 健、佐藤 貴浩、竹内 大、津田 均、石塚 俊 晶、吉野 相英、河邊 和広、大塚 正征、小杉 隆祥、平 尚美、熊 井 邦善
欠席委員	
議題及び審議 結果を含む主 な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>議題1. MSDの依頼によるBRCA 変異陰性の進行上皮性卵巣癌の未治療患者を対象としたペムプロリズマブ及び化学療法併用投与後に維持療法としてペムプロリズマブ及びオラパリブ併用投与又はペムプロリズマブ単独投与の第Ⅲ相試験（整理番号：2022-2） 治験薬概要書別冊の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認</p> <p>議題2. 中外製薬株式会社の依頼による加齢黄斑変性患者を対象としたFaricimab の第Ⅲ相試験（整理番号：2022-3） 当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験実施計画書明確化レターについて、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認 ・竹内 大委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題3. シミック株式会社の依頼による卵巣癌患者を対象としたRucaparib (CO-338) とニボルマブ (BMS-936558) の併用第3相試験（整理番号：2022-4） 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認</p> <p>議題4. MSD株式会社の依頼による進行又は再発の子宮体癌患者を対象としたペムプロリズマブ(MK-3475) とレンバチニブ(E7080/MK-7902) の併用療法と化学療法を比較する第Ⅲ相無作為化多施設共同非盲検試験(LEAP-001)（整理番号：2022-5） 治験薬概要別冊の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認</p> <p>議題5. パレクセル・インターナショナル株式会社の依頼によるバイエル薬品株式会社の依頼による糖尿病黄斑浮腫患者を対象とした高用量アフリベルセプトの第II/III相試験（整理番号：2022-7） 治験分担医師の削除について審議した。安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹内 大委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</li> </ul> <p>議題6. マルホ株式会社の依頼によるnemolizumabの結節性痒疹患者に対する第Ⅱ/Ⅲ相試験—比較/長期継続投与試験—（整理番号：2022-8）      安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。      審査結果：承認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐藤 貴浩委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</li> </ul> <p>議題7. 中外製薬株式会社の依頼による糖尿病黄斑浮腫患者を対象としたファリシマブの継続投与試験（整理番号：2022-10）      安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。      審査結果：承認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹内 大委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</li> </ul> <p>議題8. 武田薬品工業株式会社の依頼によるPID日本人におけるIGSC, 20%の長期安全性及び忍容性試験（整理番号：2022-11）      治験責任医師の変更について審議した。同意・説明文書及び治験参加カードの変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。      審査結果：承認</p> <p>議題9. 中外製薬株式会社の依頼による加齢黄斑変性患者を対象としたファリシマブの継続投与試験（整理番号：2022-13）      当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。      審査結果：承認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹内 大委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</li> </ul> <p><b>【報告事項】</b>      開発中止報告      令和4年3月29日「研究題目（2022-3）加齢黄斑変性患者を対象としたFaricimabの第Ⅲ相試験」、「研究題目（2022-10）糖尿病黄斑浮腫患者を対象としたファリシマブの継続投与試験」、「研究題目（2022-13）加齢黄斑変性患者を対象としたファリシマブの継続投与試験」、「研究題目（2021-5）糖尿病黄斑浮腫患者を対象としたFARICIMAB (R06867461)の第Ⅲ相試験」の開発中止報告が提出された。</p>
特記事項	